

川虫調査による「群馬の川の水質マップ」

川の子ども新聞

12 しらさわエコキッズクラブ(沼田市)

調査地点:白沢川 高屋橋
調査実施日:9月11日 参加人数:18人
調査結果 きれいな水
調査地点:片品川 文化橋
調査実施日:9月11日 参加人数:26人
調査結果 少しきらない水



9 六合村立六合中学校

調査地点:駒ヶ沢 六合村暮坂オートキ
キャンプ場
調査実施日:7月29日 参加人数:18人
調査結果 きれいな水



13 榛東村立北小学校

調査地点:蛇見川
調査実施日:7月28日 参加人数:2人
調査結果 きれいな水
(昨年:少しきらない水)



10 鬼石町立鬼石小学校3年生

調査地点:三波川 小平河川公園
調査実施日:8月30日 参加人数:29人
調査結果 きれいな水



14 下仁田町立青倉小学校児童・
青倉保育園児童

調査地点:青倉川 跡倉橋付近
調査実施日:8月8日 参加人数:40人
調査結果 きれいな水



11 前橋市立嶺小学校

調査地点:藤沢川 八千代橋下
調査実施日:9月12日 参加人数:16人
調査結果 きれいな水
(昨年:少しきらない水)



みんなが
住んでる近くの川は
どうかな?



5 なんきつ子どもエコクラブ(前橋市)

調査地点:赤城白川 赤城ふれあいの森
調査実施日:7月16日 参加人数:16人
調査結果 きれいな水
(昨年:きれいな水)
調査地点:赤城白川 細井新橋下流
調査実施日:9月11日 参加人数:10人
調査結果 少しきらない水



2 高崎市立西部小学校

調査地点:沼尾川 沼尾川親水公園
調査実施日:8月8日 参加人数:3人
調査結果 きれいな水



3 前橋市立細井小学校

調査地点:赤城白川 上流
調査実施日:7月23日 参加人数:6人
調査結果 きたない水
(昨年:きれいな水)
調査地点:赤城白川 中流
調査実施日:7月25日 参加人数:6人
調査結果 きたない水
(昨年:きたない水)
調査地点:赤城白川 中流
調査実施日:7月30日 参加人数:6人
調査結果 きれいな水



6 桐生市立南小学校

調査地点:桐生川 渡良瀬川合流地点
調査実施日:7月22日 参加人数:19人
調査結果 少しきらない水
(昨年:少しきらない水)
調査地点:桐生川 桐生女子高裏
調査実施日:7月22日 参加人数:19人
調査結果 きれいな水
(昨年:きれいな水)
調査地点:桐生川 蛇留測橋下
調査実施日:7月22日 参加人数:19人
調査結果 きれいな水
(昨年:きれいな水)
調査地点:桐生川 三境線入口
調査実施日:7月22日 参加人数:19人
調査結果 きれいな水
(昨年:きれいな水)



7 ヤマメクラブ(甘楽町)

調査地点:雄川 上流部(秋畑)
調査実施日:8月12日 参加人数:22人
調査結果 きれいな水
(昨年:きれいな水)
調査地点:雄川 中間部(せせらぎの路)
調査実施日:8月5日 参加人数:14人
調査結果 きれいな水
(昨年:少しきらない水)
調査地点:雄川 下流部(田篠)
調査実施日:8月5日 参加人数:14人
調査結果 少しきらない水
(昨年:きたない水)

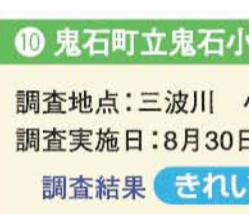


8 沼田市立川田小学校

調査地点:入澤川 沼田市下川田
調査実施日:9月3日 参加人数:4人
調査結果 きれいな水
(昨年:きれいな水)



カワゲラ
(写真提供:ヤマメクラブ)



トビケラ
(写真提供:榛東村立北小学校)

できたぞー! 11月の「水質マップ」。
みんな、ありがとう!!!
さくねんについで、川の虫さがし!
ことしも、たくさんの方々が参加してくれた。
みんなの力で、りっぱな
「群馬の川の水質マップ」の完成だ!

川の虫を調べて完成! 第3回「群馬の川の水質マップ」結果調査

- 指標となる生物
I. きれいな水
アミカ・ウズムシ・カワゲラ・サワガニ・ナガレトビケラ・ヒラタカゲロウ・ブユ・ヘビトンボ・ヤマトビケラ
II. 少しきらない水
イシマキガイ・オオシマトビケラ・カワニナ・ゲンジボタル・コオニヤンマ・コガタシマトビケラ・スジエビ・ヒラタドROMシ・ヤマトシジミ
III. きたない水
イソコツブムシ・タイコウチ・タニシ・ニホンドロコエビ・ヒル・ミズカマキリ・ミズムシ
IV. たいへんきたない水
アメリカザリガニ・エラミミズ・サカマキガイ・セズジュスリカ・チョウバエ

1 ミモザキッズエコクラブ(太田市)

調査地点:菅塩沼上流
調査実施日:7月27日 参加人数:4人
調査結果 きれいな水
(昨年:きれいな水)



川の子ども新聞編集委員・前橋市立嶺小学校教諭
塩澤 巻浩先生のおはなし
読者のみなさん、こんにちは。今年もたくさんのお便りをありがとうございました。おとしまで、先生は、休日になると群馬県北部の川によく釣りに行っていたのです。だから、みなさんから送られた写真を見て、「ここで釣りたいなあ!」と思いました。今回は釣りの話をします。瀬の石を起して、平べったいヒラタカゲロウの幼虫を採取します。すくうようにして小さめの細身の針に刺し、細い糸で作った仕掛けで、流れと流れの合流点や大きな石のまわりなどを釣ります。ヤマメは、そういうところでエサを狙っているからです。同じ川でも、緩やかな流れの石、落ち口やよどみにたまった落ち葉をめくると、厚みのあるカワゲラの幼虫が採れます。こちらは細い糸は使いません。大きい籠で沈めて釣ります。イワナを釣るのに向いているといわれますが、ヤマメもよく釣れます。ヤマメやイワナを釣るのに川虫がいいのは、川虫がそれらの主食だからです。で、その川虫は何を食べているかというと、多くが水草や沈んだ木の葉などの植物なんです。単に水がきれいであればよいのではなく、まわりの環境も大事、ということです。

●お知らせ...川虫調査に多くのお便りをいただき、ありがとうございました。紙上で紹介したものは利根川資料館に11月中展示しますので、ぜひごらんになってください。○お問い合わせは、電話027-251-2272まで。